

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏名	M.H.	学部・学科	国際教養学部国際教養学科
学年	3年	派遣国	アメリカ合衆国
派遣大学	セントクラウド州立大学		
期間	2023年 8月15日～ 2024年 5月2日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / 学外の学生寮 / アパート / その他 ()					
部屋	個室 / 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	◎	シャワー	◎	洗面所	○(◎)
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (90,000) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(徒歩) で、約 (1) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項目	金額	内訳
食費	25,000 円	ミールプラン
学用品購入費	17,000 円	学校施設使用料など
交通費	0 円	
交際費	10,000 円	外食など
その他	円	
合計	52,000 円	*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

一度だけキャンパスの近くで銃撃事件がありました。キャンパス内は問題ないですが、夜はキャンパスの外を一人で歩くのは危険でした。

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(9) ヶ月間	保険料	(93,080) 円

現地の国/大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	International Student Health Insurance		
加入期間	(9) ヶ月間	保険料	(261,750) 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市/町 (セントクラウド)
<p>セントクラウドはミネソタ州の州都セントポールから車で1時間半ほどの位置にあります。ミシシッピ川沿いに位置しており、アメリカの家族が住みやすい都市ランキングに含まれています。夏は摂氏 38 度まで上がる日があり、真冬には-30°Cまで下がることもあり、四季が明確です。湖もたくさんあり、とても自然が豊かな場所です。</p>

【学業編】

1. 大学情報

大学	セントクラウド州立大学	所在地	720 4th Ave S, St Cloud, MN 56301 USA
最寄空港	ミネアポリスセントポール国際空港	空港からの距離	車で1時間半
空港⇄大学	(車) *移動手段		
学生数	8245 (Fall 2022)	留学生数	1203 (Fall 2022)
学部	College of Science and Engineering College of Liberal Arts School of Education School of Health and Human Services Herberger Business School School of Computing, Engineering and Environment School of the Public Affairs School of Arts		

	*留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。
学部/専攻	COLLEGE OF LIBERAL ARTS Major: International Relations *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。

2. 週間スケジュール

① (8)月～(12)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	Introduction to World Politics (11:00-12:15)	Listening& Reading (10:00-11:50)	Introduction to World Politics (11:00-12:15)	Listening& Reading (10:00-11:50)	
午後	International Security (2:00-3:15)	Cultural Orientation for International Students (2:00-3:50)	International Security (2:00-3:15)		

② (1)月～(5)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前		Race In America (09:30-10:45)		Race In America (09:30-10:45)	

午後	Human Relations and Race (12:30-1:45)	Theories of International Politics (05:30-07:50)	Human Relations and Race (12:30-1:45) Terrorism, Insurgency, and World Politics (05:30-07:50)	Emerging Political Issues in the Non-Western World	
----	---------------------------------------	--	--	--	--

3. 履修内容

科目	Introduction to World Politics		
履修期間	8月から12月（秋学期）	単位数	3単位
授業内容／形態	対面。15人程度。講義中心。 国際政治や国際関係学に関する基礎知識を身につけるための講義。 国際関係論における代表的な理論や考え方について学ぶ。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	国際関係論	
	単位数	2単位	
	担当教員	西海 洋志	

科目	International Security		
履修期間	8月から12月（秋学期）	単位数	3単位
授業内容／形態	対面。15人程度。講義中心。 安全保障とは何か、また、ロシアのウクライナ侵攻などの実際に発生した国際政治における問題について学ぶ。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	平和構築論	
	単位数	2単位	
	担当教員	高橋 清貴	

科目	Listening& Reading		
履修期間	8月から12月（秋学期）	単位数	4単位
授業内容／形態	対面。30人程度。 留学生のための英語の授業。 主にスピーキングやリスニングを練習する。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Cultural Orientation for International Students		
履修期間	8月から12月（秋学期）	単位数	2単位
授業内容／形態	対面とオンライン。40人程度。 留学生のための講義。 カルチャーショックや異文化理解について学ぶ。		
成績	A+		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	Human Relations and Race		
履修期間	1月から5月（春学期）	単位数	3単位
授業内容／形態	対面。40人程度。講義中心。 主にアメリカにおける人種差別について学ぶ。 特にアフリカ系アメリカ人に対する人種差別の例となぜそれらが起きてしまうのかについて学ぶ。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	アメリカ社会論	
	単位数	2単位	
	担当教員	細谷 典子	

科目	Race in America		
履修期間	1月から5月（春学期）	単位数	3単位
授業内容／形態	対面。30人程度。講義中心。 アメリカにおける人種差別について学ぶ。 人種差別を制度や構造的な観点から分析する。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	アメリカ社会論	
	単位数	2単位	
	担当教員	細谷 典子	

科目	Theories of International Politics		
履修期間	1月から5月（春学期）	単位数	3単位
授業内容／形態	対面。15人程度。講義中心。 国際関係学のさまざまな理論を学ぶ。 また、それらの理論を使って、ケーススタディも行う。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	国際関係論	
	単位数	2単位	
	担当教員	西海 洋志	

科目	Terrorism, Insurgency, and World Politics		
履修期間	1月から5月（春学期）	単位数	3単位
授業内容／形態	対面。10人程度。講義中心。 テロリズムとは何かについて考える講義。 また、9.11以降アメリカのテロ対策はどのように変化したかなども学ぶ。		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	平和構築論	
	単位数	2単位	
	担当教員	高橋 清貴	

科目	Emerging Political Issues in the Non-Western World		
履修期間	1月から5月（春学期）	単位数	3単位
授業内容／形態	<p>オンライン講義。40人程度。</p> <p>非西洋地域特にアフリカにおける政治とその問題について学ぶ。</p> <p>アフリカの開発やジェンダー問題、南北問題など。</p>		
成績	A		
YCU 振替予定	科目	アフリカ社会論	
	単位数	2単位	
	担当教員	松本 尚之	

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800字以上)

今回の留学を通して、自分が想像していた以上のことを体験したり、学んだりすることができました。9ヶ月間の留学はあっという間に終わったという感じでした。留学当初は日本と食文化の違いで脂質の多い食事ばかりのアメリカのご飯が嫌になり、体重が減りました。しかし、日が経つにつれてアメリカの食事に慣れてきて、ほぼ毎日ポテトなどの油の多いものを食べても平気になりました。人間は自分が慣れている環境だけではなく別の環境にも慣れるということがわかりました。また、留学前のオリエンテーションでホームシックの説明があり、特に寒い地域ではビタミンDが不足して、うつ状態になりやすいと聞いていたので、少し心配していましたが、自分の場合は一度もホームシックになりませんでした。寮で一緒に住んでいるルームメイトと仲良くなり、その環境にいち早く慣れることで、ホームシックにならずにすんだのだと思います。また、日本に興味のある外国人に自分の文化を紹介することによって、距離を縮めることができました。また、日常生活の全てが日本とは異なるので、最初は毎日が新鮮なことばかりで本当に楽しかったです。大学ではさまざまなイベントが定期的に行われており、ウォータースライダーや泡パーティーなど、日本の大学では体験できないイベントがありました。アメリカは基本田舎なので大学の外に出るためには車が必要で、留学生は車を持っていないので、一人の時間がとても多かったです。なので、そのようなイベントに毎回参加するようにして、そこで外国人と積極的に交流するようにしました。また、パーティーの誘いなども特別な用事がない限りは必ず行くようにしました。積極的になんでも挑戦したり参加したりすることは留学生活において本当に大切であると実感しました。また、相手の文化や考え方を尊重することの大切さを学びました。特に外国では宗教に対してかなりセンシティブであり、自分と考えの異なる友達も多く、彼らを尊重する姿勢を留学生活を通して学ぶことができました。留学を通して、英語や自分の専門分野だけではなく、人間として成長できたと思います。本当に留学することができてよかったと思います。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400字以上)

今後は後期から履修を再開しますが、留学で学んだことを活かしながら、学びを深められるようにしていきたいと思います。また、英語を忘れないように、定期的に友達と話したり、勉強する時間をとったりして、英語学習を継続したいと思います。英語で開講されている講義を積極的に受講したいと思います。留学を通して、漠然とですが海外で働いてみたいと思いました。就活ではまだ、どの業界にするかなどは全く決まっていますが、海外で英語を使って活躍できるような仕事を就活で探してみたいと思います。留学を通して自分とバックグラウンドの異なる人々とどのようにコミュニケーションをとり、距離を縮めれば良いかを学ぶことができたので、将来外国人と働く機会があれば、そのようなコミュニケーションの方法を活かしてしっかりとコミュニケーションがとれるように頑張りたいと思います。また、異文化を受け入れ尊重する姿勢はこれからの人生においても大切にしていきたいと思います。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400字以上)

私は留学をして本当によかったと思います。留学生活は本当にあっという間でした。留学生活では一人の時間が多く、もしかしたら不安になったり、日本に帰りたくなったりすることもあるかもしれませんが、帰国することは嫌でも決まっているので、その短い期間を全力で楽しむことを常に考えてください。なかなか海外で長期間生活できることはありません。そこでしか体験できないことをたくさん経験するためにも、積極的に行動するようにするといいと思います。私は多分他の留学生と比較して一番色々なイベントや遊びのお誘いに参加した自信があります。多くのお金と色々な人々の協力があって留学できているので、そのようなチャンスを逃さないようにしてください。また友達作りでは、日本に興味のある人に積極的に話に行くと、距離を縮めやすいと思います。現地の人と友達になるのはかなり難しいのが現実ですが、積極的に行動すればきっと気の合う友達ができると思います。